

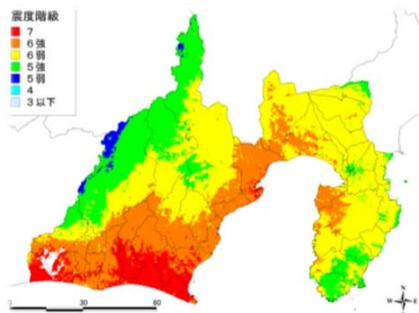
⑤災害時の迂回路となる農道の耐震化対策等の実施

【静岡県】

○アクションプログラムに基づき、迂回路として効果の大きい路線に対して耐震化対策等を実施することにより、災害時の迂回路を確保。

地域概要

- 静岡県は、全域が南海トラフ地震防災対策推進地域に指定されており、大規模地震による被害の軽減を図ることが喫緊の課題。
- 平成25年6月に策定された第4次地震被害想定では、最大で震度7が想定されている。
- この上で、地震対策の主要な行動目標を定めた「地震・津波対策アクションプログラム2013」を策定。



想定震度分布図（東側ケース）
（出典：静岡県第4次地震被害想定（1次報告））

対策の背景

大規模地震への備え

- 南海トラフ巨大地震の発生時に、緊急物資等の運搬路となる国道県道が交通困難となった場合の迂回路として農道を整備し、速やかな物資供給を行う必要がある。

対策の内容・結果

【災害時の迂回路となる農道の耐震化対策等を実施】

- 橋梁の耐震対策を優先的に実施し、通行不能を回避。
- 舗装の修繕を実施し、走行性能の改善、安全性確保を図る。
- 静岡県の地震津波アクションプログラムに「災害時の迂回路となる農道の改良」を位置付け、迂回路として効果の大きい19路線を選定。

- 災害時においても迂回路として通行できる機能を確保することにより、静岡県地域防災計画における迂回路等に位置付け、南海トラフ地震等の発生に備える。



整備された農道のイメージ
（出典：静岡県HP）



橋梁の点検状況
（出典：静岡県HP）